

9月定例会市議会

9月定例会市議会は、9月6日から21日までの16日間の会期で開かれました。

この議会では、報告2件、認定11件、議案11件、意見2件を審査し、いずれも原案どおり可決、認定、推薦に同意しました。

また、請願5件、陳情1件を審査しました。

◎主な議案

●総社市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例の一

部改正について

廃棄物の適正な処理、資源循環型社会形成及び公衆衛生の向上を図り、ごみ集積所から資源ごみの持ち去り行為を抑制しようとするもの。

●総社市火災予防条例の一部改正について

特定共同住宅等において必要とされる防火安全性を有する消防用に供する設備等に関する省令の改正に伴うもの。

●総社市給水条例の一部改正について

水道事業として給水開始されるに伴うもの。

●平成22年度総社市一般会計補正予算（第2号）

今回4億7000万円追加し、予算総額は237億1300万円になりました。

主なものは、希望退職の職員に係る退職手当の増額、住宅用太陽光発電システム設置補助金の増額、緊急雇用創出事業として観光資源の魅力や情報をPRする動画コンテンツ等の作成委託料、認定農業者等に農業経営の発展・改善を支援するために機械購入に助成を行う経営体育成交付金、市民生活に必要な市道及び河川等の維持・改良に伴う経費の増額などです。

◎人事案件

人権擁護委員の辞任と任期満了に伴い次の方を推薦することに同意しました。

土岐眞喜子（総社）
小原 充子（総社）

編集後記

世界では、南米チリで起きた落盤事故から69日ぶりに奇跡的に無事、33名が生還されたことは世界中の人々に感動を与えたことでしょう。

誰もがテレビに釘づけになり、救出の瞬間を見て感銘を受けたことは心に染み入るものがありました。

国内では梅雨の長雨の影響と今年は特に酷暑、猛暑に見まわれ、野菜の高騰が台所を直撃し、味覚の秋が損なわれています。農家では戸別補償制度の導入に伴い、米価が下落するという現象は考えさせられるものがあります。

◆編集委員会のメンバーは次のとおりです。

委員長 加藤 保博
副委員長 根馬 和子
委員 小西 義巳
委員 津神謙太郎
委員 村木 理英

平成22年9月定例会市議会における 請願・陳情の審査結果

受理番号	件名 (不採択理由)	審査結果
請願	30人以下学級実現、教員賃金改善、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の採択要請について	採 択
陳情	国・県に対して「私学助成の拡充を求める意見書」の提出を要請する陳情書	〃
請願	子どもの医療費を助成する制度創設を国に求める請願 (地域主権の時代になっていること等の理由から)	不採択
請願	働く者の低賃金と雇用破壊が深刻な経済不況を招いていることに鑑み、内需と消費拡大の妨げとなっている労働者派遣法の抜本改正を求める請願 (国においても、ある程度改善措置も講じられているということから)	〃
請願	公契約法・条例を制定し、公契約分野に従事する労働者の賃金・労働条件を保障する適切な条件設定が行われるよう措置することを求める請願 (「最低限の時給として千円を保障すること」については実現が難しいことから)	〃
請願	後期高齢者医療制度の廃止と高齢者・国民が望む医療制度に関する請願書 (元の制度に戻すことは不可能であり、国の動向を見守るべきという理由から)	〃